



なかまだみんな

横浜市立中和田南小学校

電話 802-0979

SNS という新しい環境

児童支援専任 富内 渉

今日の SNS の発展はめざましいものがあります。次々に新しい機能が生まれ、あっという間に人々の間に浸透していきます。このような SNS の急速な普及や発展は、子どもたちにとっても関係ない話だとは言えません。高学年の子どもたちのスマホの所持率は年々高まっていますし、低学年の子どもたちが持っているゲーム機でもインターネットにつながる機能が付いています。

SNS という新しい環境において、すべての人がどのように生きていくかをしっかりと考える力をつけていく必要がある時代がきたと言えます。

そもそも SNS はより広く、より速く、人と人とのつながりをつくることのできるすばらしいコミュニケーションツールです。人とつながっていることは、多くの人にとって喜びや安心を生み出します。SNS を利用すれば離れている人ともつながることができるし、新しいつながりをつくることも簡単です。コロナ禍において人と会うことや移動が制限されるなか、SNS を利用することで人とのつながりを保つことができた人も多いでしょう。しかし、本来人々につながりという幸福をもたらすはずの SNS が、悲しいニュースにおいて負の役割を担ってしまうことも少なくありません。子どもたちにとっても SNS がもたらす問題が多々あります。ここでは SNS の利便性ゆえに、まちがったことをしていても気づきにくいという他校の事例をあげたいと思います。

グループをつくってコミュニケーションをとることができるアプリにおいて、あるグループでメッセージのやりとりをしていました。ところがある日、一人を除いた全員で別のグループを作りました。もとのグループでのメッセージのやりとりはなくなり、新しいグループでメッセージがやりとりされるようになったそうです。新しいグループを作った子どもたちは、別にただ新しいグループを作っただけだと言ったといいます。この SNS で起きたこの事例を現実の場面に置き換えて考えてみたらどうでしょうか。数名で公園で楽しく遊んでいたのに、突然一人を残して、その公園を去って行き、別の公園で遊びだしたらどうでしょうか。これは、明らかに仲間外しであり、いじめになってしまうと誰もが思うでしょう。一人で公園に取り残された子どもの悲しみやさみしさは想像できます。しかし、同じような状況でも、SNS 上になると、手元の端末の操作だけで簡単にできてしまうために、その行為が正しいのかどうか、相手はどう思っているのかについて深く考えることができなくなってしまうという典型的な事例だと思います。

本校においても、SNS におけるトラブルについて、丁寧に指導を重ねてきています。早い段階でトラブルを発見し、子どもたちの話をよく聞いて指導していくことで、子どもたちの学びにつながったケースもあります。SNS 上のトラブルは表に出にくいという特性がありますが、ご家庭から連絡をいただき、大きなトラブルに発展する前に指導することができたというケースもあります。大人がしっかりと子どもたちが何をしているのかを見守り、SNS とどのように付き合っていくかについて、きちんと教え導いていく必要があると考えます。SNS が、子どもたちにとって将来にわたって価値のあるすばらしいコミュニケーションツールの一つであり続けるように、学校と家庭が連携していきたいと願っています。今後ともご協力をよろしく願います。